

インドネシア

灌漑・洪水防御修復事業



本事業により建設されたコメリン灌漑施設

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	21,518百万円 / 21,492百万円
借 款 契 約 調 印	1989年12月
借 款 契 約 条 件	金利2.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1996年12月

[事 業 概 要]

スマトラ島及びジャワ島における洪水防御・灌漑施設の改修・増設を行い、食糧の増産と洪水被害の軽減に寄与するもの。

[評 価 結 果]

本事業では、1970～80年代に円借款により建設したスマトラ等のウラル川治水・灌漑及びジャワ島のプランタス川治水事業について、堆積土砂の対策工事や河川の改修等と共に、スマトラ島コメリン上流灌漑と東ジャカルタ洪水防御事業等の修復をパッケージとして実施した。対象地域の優先課題であった灌漑治水セクターにおいて成熟度の高い複数事業を同時に取り上げた結果、米の増産と農民の収入増が報告されており、特に、事業規模の大きいコメリン灌漑地域(2万ha)では米の作付面積、収穫高とも事業実施前の1.6倍に増加した。

また、治水事業では本事業実施後に洪水被害は生じておらず、住民インタビューにおいても、大半の住民が本事業により洪水被害への不安から解放されたと評価している。

なお、河底低下や土砂堆積が事業効果の持続性に影響を与えているウラル川灌漑・治水事業については、現在、円借款による支援を通じ修復事業が計画されている。